

## 会社説明会 質疑応答の要約

2017年12月15日(金)に開催した「会社説明会」にて、株主のみなさまからいただいたご質問をまとめております。

---

Q1.「AbemaTV」で11月に放送した「ホンネテレビ」の視聴数は7,400万だったが、ユニークユーザー数や同時接続数はどのくらいだったのか？ビデオリサーチ社から207万人といった数字もあったが？

A1.「ホンネテレビ」の7,400万視聴は累積の視聴数。ビデオリサーチ社が発表した数字は、Androidユーザーのみのパネル調査であり、当社で把握している数字と大きく乖離があった。しかし、その数値がフォーカスされていたため取り下げてもらった。今回の番組で、コンテンツが良ければ見てもらえることを示せたと思っている。同時接続数については手元に数字がないが、通信を担ってくれていたパートナー企業からは、国内過去最大規模だったと聞いている。

---

Q2.招集通知の事業報告 1.企業集団の現況に関する事項 (8)対処すべき課題の、③「技術力・クリエイティブ力の強化」とあるが、クリエイティブ力となるクリエイターはどういった職種を指しているのか？

A2.当社は幅広く事業を行っており、広告デザイナーやゲーム・映像クリエイターなど様々な職種がある。また、デザインや技術により快適な操作性やわかりやすさを追求するデザイナーとエンジニアの両方のスキルが必要となる「テクニカルクリエイター」といった職種も増えている。「AbemaTV」など、外部から評価されるサービスが増えてきたことで、優秀な人材が採用しやすくなってきており、非常に良い流れだと思う。

---

Q3.私はインターネットを見るのに20時以降、データが重くなってしまう。「AbemaTV」も「IPv6」に対応してほしい。

A3.20時以降に「AbemaTV」の通信が重たくなる事象はないため個別要因だと考えるが、今後、Wi-Fi環境が整備されたりするのは「AbemaTV」にとっては追い風。「IPv6」については、社内で検討していきたい。

---

Q4.将棋チャンネルでいろいろな対局を生放送してほしい。

A4.生中継の対局は今後も増やしていく方向で考えている。

---

Q5.過去にFX 事業を売却したがビットコイン事業はどうするのか？

A5.FX 事業はゼロから立ち上げて高く売却できた。ビットコイン事業もゼロから創ってリターンが大きい事業だと考えている。

---

Q6.2013 年の株主総会にて、「2018 年営業利益 1,000 億円を目指す」と話していたが、実際は届いていないがいかがか？

A6.当時、「2018 年営業利益 1,000 億円を目指す」ことについては、必ず社内目標という前提でお話している。

そのくらいの高い目標を持って、事業を拡大させていきたいという意気込み。

---

Q7.SNS サービス「755」は、状況は？

A7.「Facebook」や「Twitter」のように、流行るとリターンが大きいけど、ほとんどの場合は成功しない。

今流行っている海外のサービスも突然火がついた。そのため、「755」も可能性があると考え続けている。

---

Q8.なぜ「AbemaTV」という名前なのか？

A8.「Ameba(アメーバ)」を後ろから読んで「Abema(アベマ)」。「アメーバブログ」がパソコン時代のイメージが強いため、違う名称にした。今はまだ読みにくいかもしれないが、突き抜けると唯一無二のブランドになれると考えている。

---

Q9.「AbemaTV」の課金モデルを収益の柱にする予定は？

A9.今の段階では考えていない。まずは、無料で使ってもらい視聴習慣をつけてもらうことが先決だと考えている。

マネタイズの多角化としては、広告、課金以外にも、Eコマースなども準備している。

---

Q10. ゲーム事業の広告宣伝費の使い方については？

A10.ゲームは、流行るタイミング、伸びるタイミングで広告を出すより効果的だと考えている。引き続き戦略的に使って行きたい。